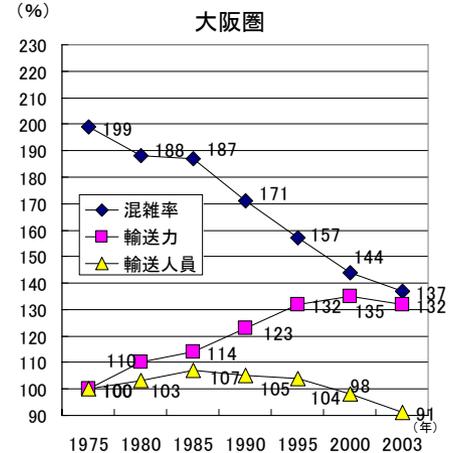
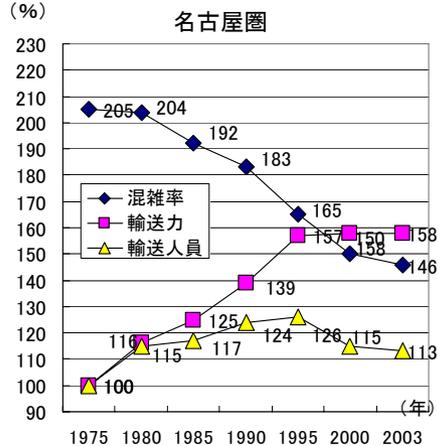
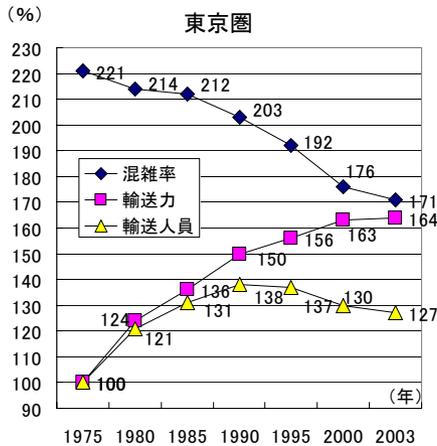


指標：鉄道の通勤・通学時の最混雑区間における平均混雑率・輸送力・輸送人員

(ゆとりある鉄道)

鉄道の通勤・通学時の最混雑区間における平均混雑率は、近年の輸送力増強や、輸送人員の減少と相まって**低下傾向**にある。

鉄道の通勤・通学時の最混雑区間における平均混雑率・輸送力・輸送人員の推移



(注)

- 輸送力及び輸送人員は1975年を100とした値。
- (混雑率) = (輸送人員) / (輸送力) * 100 で算定され、概ね以下のような状況となる。
 100% : 定員乗車(座席につか、吊革につかまるか、ドア付近の柱につかまることが出来る。
 150% : 広げて楽に新聞を読める。
 180% : 折りたたむなど無理をすれば新聞を読める。
 200% : 体がふれあい相当圧迫感があるが、週刊誌程度なら何とか読める。
 250% : 電車がゆれるたびに体が斜めになって身動きががきず、手も動かせない。

- 調査対象圏域
 東京圏(東京駅を中心に半径50km) 31区間
 名古屋圏(名古屋駅を中心に半径40km) 8区間
 大阪圏(大阪駅を中心に半径50km) 20区間
 ※特に交通不便な地域及びその大半が50km
 (名古屋圏は40km)圏外にある行政区域は除外
 ※区間は調査区間のうち主要区間